

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス 上場取引所 東
コード番号 9037 URL https://www.hamakyorex.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 義之 TEL 053(444)0054
兼経営企画室長
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	37,392	4.6	3,594	9.6	3,943	10.5	2,489	15.6
2025年3月期第1四半期	35,744	8.0	3,278	11.3	3,567	11.9	2,152	12.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,823百万円(13.9%) 2025年3月期第1四半期 2,478百万円(10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	33.63	-
2025年3月期第1四半期	28.72	-

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	160,707	103,157	56.5
2025年3月期	159,446	101,896	56.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 90,767百万円 2025年3月期 89,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	65.00	-	18.75	-
2026年3月期	-				
2026年3月期(予想)		18.75	-	20.00	38.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年3月期1株当たり期末配当金について

当社は、2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

2025年3月期の第2四半期末配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。年間配当につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。

なお、当該株式分割を考慮した場合の2025年3月期の第2四半期末1株当たり配当金は16.25円、1株当たり年間配当金は35円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	4.3	13,900	5.2	15,000	5.0	9,400	5.2	126.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	76,048,000株	2025年3月期	76,048,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,040,400株	2025年3月期	2,040,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	74,007,600株	2025年3月期1Q	74,956,207株

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2025年3月期1Qの「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善政策の効果やインバウンド需要の高まりにより、緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、資源や原材料の価格高騰による物価上昇や米国関税政策の影響による景気悪化の懸念等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益373億92百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益35億94百万円（同9.6%増）、経常利益39億43百万円（同10.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億89百万円（同15.6%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は241億75百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は32億77百万円（同14.0%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、2025年2月にリケン(株)を子会社化したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、4社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた5社のうち3社が稼働しております。残り2社につきましては、第2四半期以降の稼働を目指して準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、191センターとなっております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は132億17百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は3億6百万円（同23.9%減）となりました。

増収の主な要因につきましては、運賃値上げ交渉による効果があったこと、当企業グループの子会社において前期に孫会社を取得した効果があったことによるものであります。

営業利益の主な減益要因につきましては、外注費等のコスト増加による影響があったこと、M&Aによる取得手数料が発生したことによるものとなります。

今後につきましては、輸送物量の増加、管理強化による輸送コストの抑制に努めるとともに、近物レックス(株)において、事業開発の専門部署を立ち上げることで、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、収益性の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比12億61百万円増加し、1,607億7百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が増加したことで連結子会社の増加により流動資産及び固定資産が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末とほぼ同額の575億49百万円となりました。これは主に、法人税の支払いによる未払法人税等が減少したこと、借入金の返済が進んだことがあったものの連結子会社の増加により流動負債及び固定負債が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比12億61百万円増加し、1,031億57百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益24億89百万円の計上と剰余金の配当による13億87百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.2%から56.5%へと増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,530億円（前年同期比4.3%増）、営業利益139億円（同5.2%増）、経常利益150億円（同5.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益94億円（同5.2%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間40百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,643	21,645
受取手形、売掛金及び契約資産	16,904	17,419
商品	2	3
貯蔵品	154	145
その他	5,096	4,786
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	45,758	43,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,565	39,395
土地	52,746	53,949
その他（純額）	11,860	12,490
有形固定資産合計	103,171	105,835
無形固定資産	2,638	2,577
投資その他の資産	7,877	8,337
固定資産合計	113,687	116,751
資産合計	159,446	160,707
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,914	6,693
短期借入金	14,564	12,836
未払法人税等	2,568	1,510
賞与引当金	1,514	1,099
その他	9,096	10,918
流動負債合計	34,658	33,058
固定負債		
長期借入金	9,776	11,408
退職給付に係る負債	5,406	5,327
その他	7,708	7,755
固定負債合計	22,891	24,491
負債合計	57,549	57,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,484	6,484
利益剰余金	77,599	78,700
自己株式	△1,945	△1,945
株主資本合計	88,685	89,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	638	754
退職給付に係る調整累計額	235	226
その他の包括利益累計額合計	873	981
非支配株主持分	12,337	12,389
純資産合計	101,896	103,157
負債純資産合計	159,446	160,707

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	35,744	37,392
営業原価	31,173	32,537
営業総利益	4,571	4,854
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	0	1
役員報酬	237	225
給料及び手当	283	298
賞与引当金繰入額	44	40
退職給付費用	8	7
その他	719	687
販売費及び一般管理費合計	1,293	1,260
営業利益	3,278	3,594
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	65	54
固定資産売却益	48	49
助成金収入	18	125
売電収入	109	107
雑収入	181	160
営業外収益合計	422	499
営業外費用		
支払利息	41	60
売電原価	56	55
雑損失	35	34
営業外費用合計	132	150
経常利益	3,567	3,943
特別利益		
負ののれん発生益	-	36
特別利益合計	-	36
特別損失		
和解金	-	17
特別損失合計	-	17
税金等調整前四半期純利益	3,567	3,962
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,331
法人税等調整額	△105	△88
法人税等合計	1,181	1,243
四半期純利益	2,386	2,718
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,152	2,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	233	229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91	117
退職給付に係る調整額	△0	△13
その他の包括利益合計	91	104
四半期包括利益	2,478	2,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,243	2,596
非支配株主に係る四半期包括利益	234	226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,475百万円	1,561百万円
のれんの償却額	40百万円	42百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	22,576	12,982	35,558	-	35,558
その他の収益	186	-	186	-	186
外部顧客への営業収益	22,762	12,982	35,744	-	35,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94	487	581	△581	-
計	22,856	13,469	36,326	△581	35,744
セグメント利益	2,874	402	3,277	1	3,278

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	23,955	13,217	37,173	△0	37,173
その他の収益	219	-	219	-	219
外部顧客への営業収益	24,175	13,217	37,392	△0	37,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	535	651	△651	-
計	24,292	13,752	38,044	△651	37,392
セグメント利益	3,277	306	3,584	10	3,594

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、石丸運輸株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。